

心動くままに

さよなら言友会

C

探し求めめたどりついた場 言友会

その中で探し物をみつけようとしていた

けれどもとうとうみつからない

グループの中で押さえるのが辛いほど

動き続けていた心も

ぴたりと止まってしまっている

話を聞いているのが厭になるほどに

確かに心が動いている時があった

何かを感じあえている時があった

いつの時からか

もう動かなくなった

話の練習のための話

ちょっとした優越感を感じるためのアドバイス

「明るく前向きに生きる」という堂々巡りの話

出口のない迷路のように

迷路の壁など押し倒せばよいのに

皆迷路の中をぐるぐる回っている

その場のことを人に話せなくなり

その場にいるとき身を隠したい思いに駆られた

そんな自分に気付いたとき

退会届けを書いた

それから体の中にポッカリ穴があいた思いに駆られ

帰る故郷をなくした悲しさをあじあう

居るだけでふとやすらげる場

けれどそれは現実にある場ではない
私がイメージのなかで描き続けた場
どこにもそんなものはなかったのかもしれない

これから作りあげようとする場
私は私の道を歩み始める

さよなら私の愛した故郷
さよなら言友会

迷路

C

吃音者は最初「どもりを治す」という迷路に挑みました。
出口を見付けた人がいるという話をきいて、必ず出口があるはずだと。
けれどもなにとやっても入り口に戻るだけだったようです。
まだ出口があるはずだと探している人もいます。
けれども「明るく前向きに生きる」という別の迷路に挑み始めた人もいます。その時から
吃音者は止まってしまった一迷路を回っているだけだと批判する人がいます。
その迷路に出口があるのかどうかはわかりません。
最初の迷路も、新しい迷路も出口をみつけてもどちらにしてもまたなんらかの迷路に入
ることが待っているようです。
しかもこの壁は釘がでっばっていたり、突起物がついていたり
通る人を傷つけるのです。

けれどなぜ私達は迷路に入らねばならないのでしょうか。
迷路は、迷路の壁は何故あるのでしょうか。

迷路の壁とは差別のことではないかと思うのです。
私は迷路の壁壊しをやりたいのです。